

**令和6年度
すくわくプログラム活動報告書
(実施対象:3~5歳児)**

陽だまいの丘保育園

テーマ

世界の絶滅危惧種

設定理由

世界中の様々な動物に興味を示し調べる中で、“絶滅危惧”という言葉に関心を持ったため

活動のねらい

世界の国々に関心を持ち、視野を広げる。

対象クラス

幼児クラス61名（内訳：3歳児/20名 4歳児/20名 5歳児/21名）

スケジュール

令和6年4月～令和7年3月

関心を持つ

せかいタッチ



知るきっかけを作る



実験から疑問が生まれる



- オンラインで他国と関わりを持つことのできる“せかいタッチ”を通して、同世代の世界の友だちがいることを知る。
- 世界地図を見ながら、自分の知っている国名や、その国の情報を話し、友だちの話から関心を広げる。
- 「オーストラリアにはたくさんの動物がいる」という友だちとの会話から、どんな動物がいるのかを図鑑で調べる中で、「エミュー」「ワラビー」といった自分たちの知らない動物が世界に存在することを知る。

環境のために準備した
素材や道具

せかいタッチ、ちきゅうフレンズ、世界地図、図鑑、画用紙、動物の写真

子どもたちの育ち

- 世界地図を見て、国々に興味を持つ。
- 自分の知らないこと（動物の名前）を聴き、疑問に思ったことを図鑑で調べてみようとする。
- 世界にいる様々な動物を知る。

疑問を深める



エミューと
身長比べ



クジラはどれくらいかな～？

キリンってこんなに
大きいんだ！



AI検索中



“ぜつめづ”って
なに？

新しい疑問が生まれる



- ・エミューがどんな鳥かを調べると、“世界で2番目に大きな鳥”ということが分かり、実際の大きさを再現すると、自分の身長と比べるなどして、その大きさを実感する。
- ・生き物の大きさに興味を持ち、オーストラリアに生息するザトウクジラや、アフリカのキリンなどの体長を調べ世界の生き物に興味を持つ。
- ・自分たちの行ったことのある国の動物を調べている際に、“絶滅危惧種”という言葉を見つけ、動物が絶滅してしまうことに関心が広がる。

環境のために準備した
素材や道具

メジャー、図鑑、iPad（AI検索エンジン）、ビニールテープ

子どもたちの育ち

- ・世界の動物に興味を持ち、大きさを実際に調べそのサイズを体感する。
- ・図鑑だけでなく、AI検索を使いより深く疑問を解決しようとする。
- ・絶滅とは何か、保育士との対話の中で想像したり、意味を理解したりする。

自分で考え、調べてみる

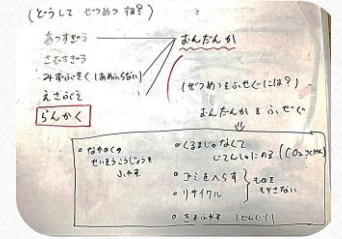
ケニアって
どこだろう？絶滅危惧種って
こんなにいるんだ！日本の沖縄にも
絶滅動物がいます

調べたことを発表



子ども会議

テーマ：絶滅を防ぐには



- ・絶滅危惧種の動物を図鑑から探す中で、その動物の生息地にも興味を持ち、南アフリカやケニアなどの国を世界地図から見つける。
- ・日本にも絶滅危惧種がいることを知り、沖縄のアマミノクロウサギなど、自国の動物にも関心が向く。
- ・“絶滅”について、なぜ動物が絶滅するのか、また、絶滅を防ぐために会議を開き、自分たちのできることは何か考えた。

環境のために準備した
素材や道具

世界地図、iPad、図鑑、画用紙、写真、ペン、ホワイトボード

子どもたちの育ち

- ・単純な動物だけでなく、世界中の絶滅危惧種を調べ、その数の多さに驚いたり危機感を持ったりする。
- ・世界から日本へ興味を移し、日本の絶滅危惧種についても調べる。

全体の振り返り

・世界にいる様々な動物を探す中で、その大きさに興味を持ち、エミューといった大型の鳥類など、自分の知らないことが世界には広がっていることに気がついた。関心のある事柄を自分で調べ、発見したり新たな疑問が生まれたりするうちに、絶滅危惧種の動物の存在を知り、地球で起きている問題にも関心を寄せるようになる。世界の動物から自国への関心も高まり、主体的に絶滅危惧種の動物のことを調べていく中で、自分たちにできることはないかという思いが生まれた。子ども会議の場を設けることで、興味を深めることができた。

